

新型コロナウイルス感染症に関わる第4次申し入れ

新型コロナウイルスに対する「緊急事態宣言」が、5月14日愛知県を含む39県で解除されました。3月2日からの、小中学校への突然の休校以来、4月4日には碧南市民病院での感染者発生、院内感染によって12名が感染し、うち4名が死亡するという状況となりました。

日本共産党碧南市議員団は3月2日、3月11日、4月11日の3度にわたって、子どもの生活、公務労働者への給与補償、中小零細業者の廃業閉店を回避するための公共料金の猶予、減免無料化、医療介護労働者をはじめ医師が必要と認めた人への検査実施など、多岐にわたって具体的な市民の声と要求を届けてきました。

碧南市は、5月18日の臨時議会に補正予算を上程し、水道基本料金4カ月分の無料化などを実施されます。しかし、碧南民報サンデー版5月17日付けに掲載したように、西三河9市比較でも下水道基本料金無料化、学校、幼稚園、保育園の給食費無料化、保育料無料化、県の自粛協力金50万円の対象から、数日不足しているなどの理由で外された業者への市独自の協力金の支給などは、盛り込まれていません。

また、今回のコロナ対策で浮き彫りになったのは、日本の病院不足の実態です。取り分け感染病床は約9割が自治体、公立病院です。こうした中でも、安倍内閣は公的公立病院の再編統廃合を撤回しようとしていません。ねぎた市長は、無投票当選後の抱負を中日新聞で語り「2～3割の病床削減」と言葉にしています。まさに国以上の病院の弱体化をするというのでしょうか。

コロナ感染患者が出てしまった碧南市民病院で、命がけで働いている医師看護師はこの言葉をどう受け止めているのでしょうか。誠に残念です。

また、医療・介護施設などに働く人たちは、自身が陰性か陽性か抗体の有無はなど全く分からない状態で、働いています。一刻も早くこれらの方々に検査を実施すべきです。

以下国会議員団とも連携して、求めている各項目を実施し、関係各位に働きかけをしてください。

記

- 1、市独自の施策として、下水道基本料金の無料化、学校幼稚園保育園の給食費と保育料無料化、県自粛協力金の対象から外れた業者への協力金支給を行ってください。
- 2、「緊急事態宣言」外しは、検査件数が少ない中で氷山の一部で判断するもので、第2波への不安と危険性が指摘されています。ドライブスルー方式、唾液による検査、医療介護保育などで働く人への全員検査の実施を計画するよう国、県、保健所に働きかけをしてください。
- 3、国に公的公立病院再編統廃合の計画を撤回し、「コロナ」の経験から医療拡充を求めてください。
- 4、碧南市民病院での感染者、院内感染の経験を活かし、熱外来専用受付、感染非感染の動線確保など、リニューアル計画に直ちに反映し計画の早期促進完了を目指してください。
- 5、「患者のための碧南市民病院」を貫くことこそが、信頼関係を高め患者を増やし病院運営の好転への最大のカギです。「赤字解消」を最優先にするのではなく、この原点に立ち切ってください。
- 6、「コロナ問題」で問われたのは「効率優先」の社会のありかたです。相手の思いやりなしにはコロナと対決する「連帯」はできません。

「費用対効果」「他市並み」の時代遅れの市政のありかたを根本的に見直ししてください。